

令和6年度 前期学校評価 自己評価書

鬼北町立泉小学校 令和6年7月

【評価基準】 A: 目標を達成 B: 75%以上達成 C: 60%以上達成 D: 60%未満の達成 4: そう思う 3: どちらかと言えばそう思う 2: どちらかと言えば思わない 1: 思わない

項目	重点目標	評価指標及び目標値		評価	学校による考察・改善方策	評価資料	評価	アンケート結果(%)						担当者	
		評価指標	目標値					4	3	2	1	指数	全体平均		
1	豊かな心と健やかな体の育成	生徒指導の徹底	① 基本的な生活習慣(気持ちのよい挨拶)は、適切に指導され、身に付いてきている。	児童、保護者、教職員、学校運営協議会委員における指数85%以上	A	【考察】 全体的に評価はよい。しかし、児童・保護者・教職員の中に、数名否定的な評価が見られた。地域からは、元気よく挨拶ができてきているという好意見をいただいている。毎朝、学級では「泉の子7つの約束」「学びの約束」を復唱しており、意識の維持はできていると感じる。 【改善方策】 ①児童会が中心となり、代表委員会で生活習慣における課題を提案し、全校で課題解決に向けた話し合いを行う。 ②「泉の子7つの約束」及び「学びの約束」の復唱を継続し、決まりを守る意識を持たせる。	児童アンケート(7つのやくそく)	A	61	32	5	3	88	89	生徒指導主事
			② 教育相談や教育相談的対応に取り組み、児童理解とコミュニケーションが深化した。	児童、保護者、教職員アンケートにおける指数85%以上	A	【考察】 保護者、教職員の評価は良好である。SSWが定期的に来校し、児童への教育相談を実施されている。ただし、児童の中には、先生や友達には相談しにくいと答えている児童がいる。毎月のいじめに関する調査等を活用し、教育相談の機会を設ける必要がある。 【改善方策】 ①学級担任による定期的な教育相談の実施、SSWによる教育相談の充実を2学期以降も継続し、児童全員が、職員と相談できる機会を設定する。	児童アンケート	B	40	45	16	0	81		
	① 教科体育・体育的行事の指導が充実し、体力向上に役立った。	児童、教職員アンケートにおける指数85%以上	A	【考察】 春の運動会を予定通り実施できた。教務主任が教科体育の時数調整を図り、適切に時数確保がなされた。放課後水泳練習についても、3年生以上が全員参加し、泳力を伸ばすことができた。こうした取組により高い評価が得られた。 【改善方策】 ①今後も、陸上練習や持久走大会等、体育的行事が控えている。教科体育を活用しながら、児童の体力向上を図る。	児童アンケート	A	84	13	3	0	95	95	生徒指導主事		
	② 適切な給食指導や保健指導及び交通指導等を実践し、校内外における健康・安全の確保に努めている。	児童、保護者、教職員アンケートにおける指数85%以上	A	【考察】 児童・保護者・教職員ともに高い評価を得られている。給食指導については、残食がある学年があり課題として挙がっている。児童からは登下校の安全に関して、1名否定的な回答を得ている。個別に指導に当たる必要がある。 【改善方策】 ①全校給食で残食について指導を行い、少しでも食べられるような声掛けを継続していく。 ②偏食についての指導は、保護者の協力も得ながら学校と家庭で連携を図る。 ③登校中の安全に関しては、代表委員会等で話し合う機会を設け、安全に気を付けて登下校をする意識の向上・維持を図る。	児童アンケート(登下校の安全)	A	68	29	3	0	91				
	特別支援教育・人権教育・道徳教育の推進		① 生活班活動や児童会活動、学校行事等を通じて友達と協力して物事をやり遂げたり高め合ったりする心を育てている。	児童、保護者、教職員アンケートにおける指数85%以上	A	【考察】 高学年のリーダー性が高まっていると、教職員から多くの意見が得られた。学校でも、高学年が低学年に優しく関わっている姿を多く見ることができた。低学年も高学年を慕っており、互いに思いやりの心情を高めているように感じる。 【改善方策】 ①高学年のリーダー性の高まりについて称揚し、高学年としての自覚を高める。また、児童会を中心として、今年度前半で行ってきた児童会活動の継続を図る。	児童アンケート	A	76	16	8	0	92		
			② 適切な給食指導や保健指導及び交通指導等を実践し、校内外における健康・安全の確保に努めている。	児童、保護者、教職員アンケートにおける指数85%以上	A	【考察】 児童・保護者・教職員ともに高い評価を得られている。給食指導については、残食がある学年があり課題として挙がっている。児童からは登下校の安全に関して、1名否定的な回答を得ている。個別に指導に当たる必要がある。 【改善方策】 ①全校給食で残食について指導を行い、少しでも食べられるような声掛けを継続していく。 ②偏食についての指導は、保護者の協力も得ながら学校と家庭で連携を図る。 ③登校中の安全に関しては、代表委員会等で話し合う機会を設け、安全に気を付けて登下校をする意識の向上・維持を図る。	児童アンケート(歯磨き、洗顔、朝食)	A	76	24	0	0	94		
③ 適切な給食指導や保健指導及び交通指導等を実践し、校内外における健康・安全の確保に努めている。	児童、保護者、教職員アンケートにおける指数85%以上	A	【考察】 児童・保護者・教職員ともに高い評価を得られている。給食指導については、残食がある学年があり課題として挙がっている。児童からは登下校の安全に関して、1名否定的な回答を得ている。個別に指導に当たる必要がある。 【改善方策】 ①全校給食で残食について指導を行い、少しでも食べられるような声掛けを継続していく。 ②偏食についての指導は、保護者の協力も得ながら学校と家庭で連携を図る。 ③登校中の安全に関しては、代表委員会等で話し合う機会を設け、安全に気を付けて登下校をする意識の向上・維持を図る。	保護者アンケート(保健指導・交通指導)	A	75	25	0	0	94					
						保護者アンケート(生命尊重)	A	58	42	0	0	89			
						教職員アンケート	A	63	38	0	0	91			
						※合計が100%になっていないところがあります。これは、計算上出てきた十分の一の位を四捨五入しているためです。									
						児童アンケート	A	76	16	8	0	92	91	生徒指導主事	
						保護者アンケート	A	58	42	0	0	89			
						教職員アンケート	A	63	38	0	0	91			
						※合計が100%になっていないところがあります。これは、計算上出てきた十分の一の位を四捨五入しているためです。									

令和6年度 前期学校評価 自己評価書

鬼北町立泉小学校

令和6年7月

【評価基準】 A:目標を達成 B:75%以上達成 C:60%以上達成 D:60%未満の達成 4:そう思う 3:どちらかと言えばそう思う 2:どちらかと言えば思わない 1:思わない

項目	重点目標	評価指標及び目標値		評価	学校による考察・改善方策	評価資料	評価	アンケート結果(%)					担当者			
		評価指標	目標値					4	3	2	1	指数		全体平均		
2	授業力の向上	① 目標と指導と評価の一体化を目指し、ねらいを明確にした授業を展開している。	児童、保護者、教職員アンケートにおける指数	85%以上	A	【考察】 昨年度の学校評価でも、この項目について課題があり、授業改善を行ってきたところである。教職員については、全員が肯定的に捉えており、授業改善の継続が図られていることがうかがえる。 【改善方策】 ①ねらいの提示、振り返りの場の設定を今後も確実に、自己評価や教師による児童の学習成果の見取りを次時に生かせる授業づくりを行うよう努める。 ②児童自身が、授業のめあてに対する振り返りをしっかりとできるよう時間の確保をする。	児童アンケート	A	63	29	8	0	89	89	学力向上推進主任	
		② 自分の考えをまとめたり、表現したりする活動を大切に授業を展開している。	教職員アンケートにおける指数	90%以上	B	【考察】 この項目は、昨年度から課題として挙がっている項目である。昨年度より、自分の思いを文章で表現したり、発表させたりする機会を授業内で設定し継続してきた。そのことにより、否定的な意見は見受けられないが、児童に力がついているかといえは十分でないことを考慮した上で、評価に伸び悩みが出ていることが感じられる。 【改善方策】 ①自分の考え及び感想を発表する場を意図的に設定したり、たかのすタイムを利用して短作文等を通じた書く場の設定をしたりする。 ②自分の思いを伝えたいと思えるような授業展開の工夫など、表現することに必然性を持たせるような授業改善に取り組む。	教職員アンケート	B	43	57	0	0	86			86
	① 「学びの約束」を指導し、学習規律の確立に努めている。	児童、教職員アンケートにおける指数	85%以上	A	【考察】 「学びの約束」については、朝の会等で復唱している学年が多く、学習規律の維持向上に役立っている。しかし、ただ復唱をしているだけになっている児童がいるという意見が挙がった。個別に支援が必要である。 【改善方策】 ①授業中、学びの約束についての意識付けを図るために、児童への声掛けを適宜行う。 ②学びの約束の中でも、重点目標を決め、クラス全体で目標達成に向けた取組を行う。	児童アンケート	B	42	47	8	3	82	88			学力向上推進主任
	② 漢字の読み書きや計算の定着を目指し、いぶり等で繰り返し指導している。	保護者、教職員アンケートにおける指数	85%以上	A	【考察】 今年度、PTAの予算から問題集を購入し、いぶりと合わせて活用している。教職員の評価から、十分な活用が図られたことがうかがえる。保護者の評価としても概ねよい評価を得ることができている。 【改善方策】 ①担任が宿題等のチェックをしっかりと行い、学習内容の定着を図る。 ②たかのすタイムでは、現在学習中の内容の補充のほかに、既習内容で忘れてしまっているような内容の学習を含め、基礎・基本の定着を図る。	保護者アンケート	A	55	41	3	0	88		89	学力向上推進主任	
① 家庭学習の各学年の目標時間が達成できるような指導や啓発に努めている。	児童、保護者、教職員アンケートにおける指数	85%以上	A	【考察】 保護者の評価から、家庭学習の習慣が十分に身につけていない様子が見られる。実際のところ、児童も教職員も全体としてはA評価ではあるが、数名否定的な回答をしている。評価内容が学習時間に焦点を当てているので、学習内容もさることながら時間確保を意識した家庭学習の在り方を考慮する必要がある。 【改善方策】 ①家庭学習について、目標時間に相当する課題を課し、学習習慣の定着を図る。また、家庭学習チェックカード週間を活用し、家庭への協力を呼び掛ける。 ②家庭学習する際には、時間を計るよう指示し、目標時間達成を意識させる。	児童アンケート	A	66	26	5	3	89	87	学力向上推進主任			
① 読書到達目標の達成に向けて、読書指導を行っている。	児童、教職員アンケートにおける指数	85%以上	A	【考察】 本屋へ行くプロジェクトなど、新しい本に出会う機会を多く持っている。また、図書委員会が中心となり本に親しむことができるようなイベントを開催した。その結果、高評価につながっていると感じる。 【改善方策】 ①昼休みが図書館の開館時間となっている。その時間に利用ができなかった場合は、学級で時間を取り、図書の本を出るようにし、全児童が図書の本を借りる機会を保障する。 ②読んだ本に関しては、読書記録を取るようし、年間の読書目標達成を目指す。	保護者アンケート	B	41	48	10	0	83			88	学力向上推進主任	
					児童アンケート	A	68	13	18	0	88					88

※合計が100%になっていないところがあります。これは、計算上出てきた十分の一の位を四捨五入しているためです。

※合計が100%になっていないところがあります。これは、計算上出てきた十分の一の位を四捨五入しているためです。

※合計が100%になっていないところがあります。これは、計算上出てきた十分の一の位を四捨五入しているためです。

令和6年度 前期学校評価 自己評価書

鬼北町立泉小学校 令和6年7月

【評価基準】		A:目標を達成 B:75%以上達成 C:60%以上達成 D:60%未満の達成				4: そう思う 3: どちらかと言えばそう思う 2: どちらかと言えば思わない 1: 思わない								
項目	重点目標	評価指標及び目標値		評価	学校による考察・改善方針	評価資料	評定	アンケート結果(%)					担当者	
		評価指標	目標値					4	3	2	1	指数		全体平均
3	家庭・地域との連携	① 通信や配付文書、家庭訪問・懇談会・電話連絡等による情報提供が行われている。	児童、保護者、教職員、学校運営協議会委員における指数85%以上	A	【考察】 今年度はマチコミを通じて、学校からのお知らせを伝達する方法を取り入れた。このことにより確実に連絡事項を保護者に伝えることができています。児童が学校からのプリントを保護者に渡すことを忘れるということも減っている。ホームページも頻繁に更新しており、地域からは高い評価を得ている。 【改善方針】 ①今後も、様々な情報伝達手段を利用しての情報発信を行いながら、家庭・地域との連携を図っていく。	児童アンケート	A	68	18	13	0	89	93	教頭 ◎教務
		② 地域に根ざした教育活動やPTA活動を通して、保護者や地域、関係機関との連携が深まった。	児童、保護者、教職員、学校運営協議会委員における指数85%以上	A	【考察】 公民館や老人クラブ、農業指導班など、多くの団体と連携を取り、様々な体験活動をしている。地域コーディネーターが間に入って調整をとってもらっていることにより、スムーズな運営ができています。こうしたことにより、児童・保護者・教職員・地域有識者ともに、高い評価を得ることができている。 【改善方針】 ①PTAや公民館と情報を共有し、連絡を取り合いながら適切に教育活動を展開していく。	保護者アンケート	A	71	21	4	4	90		
教職員アンケート	A	88	13	0	0	97								
地域有識者アンケート	A	89	11	0	0	97								
						※合計が100%になっていないところがあります。これは、計算上出てきた十分の一の位を四捨五入しているためです。								
4	教職員の資質・能力の向上	① 効果的な校内研修が実施され、資質・能力の向上や自己研修に役立った。	教職員アンケートにおける指数90%以上	A	【考察】 研修主任を中心に、計画的な研修がなされている。本年度は、新聞を活用した教育や少人数授業の在り方に焦点を当てた研究会が予定されており、研究会を活用して、教職員の資質・能力向上に役立てたい。 【改善方針】 ①児童の実態を把握し、個々の能力を高めていくための方法を研究会を通して模索する。 ②個の学力に応じた指導の在り方について研修する。	教職員アンケート	A	88	13	0	0	97	97	教頭 ◎教務
		② 連絡・報告・相談の徹底を図り、勤務規律を厳守している。	教職員アンケートにおける指数90%以上	A	【考察】 すぐに相談できる雰囲気職員間にあり、気持ちよく協力して仕事を進めることができているという意見が多かった。互いにコミュニケーションを図りながら、明るい職場づくりが進められている。 【改善方針】 ①今後も連絡・報告・相談を徹底し、全教職員が共通理解を図りながら、気持ちよく働くことのできる職場を目指す。	教職員アンケート	A	88	13	0	0	97	97	
						※合計が100%になっていないところがあります。これは、計算上出てきた十分の一の位を四捨五入しているためです。								
4	教職員の資質・能力の向上	③ 適切な人的管理と物的管理が行われ、生命を尊重する環境づくりに努めている。	教職員アンケートにおける指数90%以上	A	【考察】 それぞれの教職員が、与えられている業務を遂行し、協働する組織づくりができています。また、運動場やバラ園の整備については、校長や体育主任、校務員が中心となって進めているため、環境が整っている。地域の方からも、よく整備され充実した教育環境が整っているという意見をいただいている。 【改善方針】 ①PTA奉仕作業等を利用して、地域にも環境整備への協力を呼び掛ける。 ②週1回の環境の日を利用して、全校児童が除草作業を行う日を設定する。	教職員アンケート	A	88	13	0	0	97	94	◎教頭 教務
		④ 地域コーディネーターが学校と地域の連絡係となり、教員の負担軽減につながっているという。町内の人材活用に感謝したい。	教職員アンケートにおける指数90%以上	A	①PTA奉仕作業等を利用して、地域にも環境整備への協力を呼び掛ける。 ②週1回の環境の日を利用して、全校児童が除草作業を行う日を設定する。	地域有識者アンケート	A	67	33	0	0	92		
						※合計が100%になっていないところがあります。これは、計算上出てきた十分の一の位を四捨五入しているためです。								
学校運営協議会委員の所見		○放課後水泳練習を3年生以上全員が参加しているということを知り感心した。特に水泳に関しては、命を守る大切な学習となる。しっかりと水から身を守る術を、3年生から身に付けることは有意義である。2学期は陸上練習もあると聞く。体力向上に努めてほしい。 ○学力向上については、課題があると聞いた。今後の授業改善を求む。時代の流れとともに、学習形態が変わっていることが分かった。ICT機器の活用など、時代のニーズに応えた教育の推進を図ってほしい。 ○夏季休業中の全校登校日を廃止し、オンラインによる児童との情報交換や宿題の進捗状況を確認していると説明を受けた。2学期以降、非常変災時等、家庭への連絡にも活用できるのではないかと感じた。 ○地域コーディネーターが学校と地域の連絡係となり、教員の負担軽減につながっているという。町内の人材活用に感謝したい。 ○本校における教職員の協力体制が十分に整っていることに感謝したい。教職員の心身の健康が児童たちの安心安全に直結する。今後もこの状態を保ってほしい。			学校の対応		●2学期以降も、陸上練習や持久走大会等、体力向上を目指した活動を展開する。 ●デジタルとアナログのベストミックスを目指した教育活動の改善を図り、より効果的に成果の上がる教育活動を模索する。 ●児童一人一人に寄り添い、誰一人つらい思いをすることのないよう、児童理解に努める。 ●学力定着の格差、偏食、家庭学習の充実等、課題は明らかになっているので、少しでも改善できるよう、教職員でアイデアを出し合い、課題解決にあたる。 ●風通しのよい職場環境づくりに努め、何でも相談しあえる教職員集団を今後も目指す。					◎教頭 教務		